

# かなざわユースセンター インタビュー①

かなざわユースセンターによく来てくれた  
2人の高校生が4月から大学生になります。  
2人にとってユースセンターとはどんな場所だったのか、  
インタビューしました。



## ① 高校3年生・女性へのインタビュー

ユースセンターはどうやって知りましたか？

もともと長土堀青少年交流センター3階の学習コーナーで勉強しているときにユースセンターのホワイトボードを見て興味があったんですけど、なかなか勇気が出なくて。ちょうどその頃、ユースセンターの方と子ども会で一緒に活動する機会があったんです。そのときに声をかけてもらって、「一回来てみて」と言われて、初めて行ったのがきっかけです。行ってみたら本当にアットホームな感じで、「また行きたいな」と思うようになりました。

ユースセンターでは何をして過ごしていますか？

勉強か、おしゃべりをしていることが多いです。ユースセンターには、いろんな学校や学年、年齢の人がたくさんいて、ここでしか関わることができない人たちに出会えました。この友達にしか話さないこともあって、ユースワーカーには、ほかの人には相談できないようなことも話せていました。

高校3年生のときに学校に行けなくなったそうですが、そのときはどうでしたか？

学校も親も味方になってくれていましたが、一番親身になってくれて、信頼できたのはユースワーカーでした。自分の気持ちを話す場所としてすごく大切でした。

塾や予備校には行かずに浪人したそうですが、その理由は？

最初は塾に行く予定もありましたが、体調を崩してしまい、行き続けられるかわからなかったんです。そのときに親と話して、無理して塾に行くよりも、自分が信頼しているユースセンターでユースワーカーに教えてもらったほうがいいのか、ということになりました。ユースセンターは、私にとっても親にとっても、塾のような存在でもあり、学校のような存在でもあったので、通い続けられました。

ユースワーカーの教え方についてはどう思いますか？

教えるのがうまいというより、一緒に勉強してくれる感じです。問題を一緒に解いてくれたりして、本当にいろんなユースワーカーがいて、居心地のよい空気感をつくってくれていました。

ユースセンターにはどれくらいの頻度で来ていましたか？

ほぼ毎回来ていました。来てから午後7時30分ごろまでいました。

## ユースセンターの好きなところはどこですか？

ユースワーカーの皆さんや、ここで出会えるいろんな人たちが好きです。  
ここでしか出会えない人がたくさんいて、そんな人たちと話すうちに視野が広がったり、  
偏見がなくなったりしました。例えば、ピンクは女の子の色、という固定観念や、  
障害がある人、LGBTのことについても、ここで普通に話すうちに偏見がなくなり、  
街でそういう人と出会ってもフラットな気持ちでいられるようになったのは本当に良かったです。

## 家や学校と比べて、ユースセンターはどんなところが違いますか？

家も普通に好きですが、家とは違う居場所感があります。ここは何でも受け入れてくれて、  
みんなが真剣に考えてくれます。親もそうですが、年が近いからこそ考えてくれることがあり、  
ユースワーカーだけでなく、ユース同士でも励まし合って背中を押し合いながら受験を  
乗り越えられました。

## ここでできた友達はいますか？

はい。結構多いです。学校の友達とは違う話をするので、とても楽しいです。  
今日もここでできた友達とご飯に行きました。

## 学校の友達とここでの友達の違いは何ですか？

学校の友達は学校の話が多いですが、ここの友達は客観的な意見を言ってくれます。  
学校の友達には「この話はどう思われるかな」と気にしてしまいがちですが、ここではそんなことを  
考えずに話せて、関係がフラットです。  
学校には部活などの属性やコミュニティがありますが、ユースセンターの人とはまた違う  
関係性があります。年下の中学生とも話せて、流行や喧嘩の話も聞けて、違う感覚で付き合えています。

## ユースセンターに来て、自分自身が変わったと感じることはありますか？

強くなった気がします。前向きになりました。いろんな人の人生を聞いてきて、  
頑張ることは恥ずかしいことじゃない、自分も頑張りたいと思うようになりました。  
ネガティブに考えるよりポジティブに考えたほうが楽しいと感じられるようになったのは、  
みんなと過ごすうちに変わったことです。

## ユースワーカーから将来につながるアドバイスはありましたか？

たくさんありました。浪人を決めたのもユースセンターでの話がきっかけです。  
本当は浪人することにすごく不安があり、浪人しないで滑り止めの大学に行こうと  
思っていたのですが、悩んでいるときに浪人を選んだ人、選ばなかった人、  
何人かのユースワーカーの方と話し、「もう1年頑張ろう」と考えるようになりました。  
浪人して友達と離れてしまったり、遊びに誘われなくて寂しかったけど、  
それをユースワーカーに話して支えてもらったので、浪人する決意ができました。  
今の自分があるのは、ここで深く支えられたからだと思います。

ユースセンターがもっとこうなったらいいなと思うことはありますか？

開館日数がもっと多いといいなと思います。家からユースセンターは近くはないけど遠くもないです。歩いて来るのは難しく、いつも車で親に送ってもらっています。駅から遠いので、もっと近くにあっていいなと感じます。ただ、人が多すぎると話しにくいこともあるので、程よい人数がいいと思います。

将来の夢は何ですか？

養護教諭になりたいくて、教育学部に進みます。最初は曖昧な気持ちで、なろうかなという程度でした。でも、ここに来て進路と一緒に調べたり、模試の志望校を書いたりしながら、自分が本当にしたいことや好きなことをはっきりさせてくれて、養護教諭になりたいという気持ちが強くなりました。

あなたにとってユースセンターとは？

めちゃくちゃ特別な場所です。家でも学校でもないと言いましたが、言葉では表せない感じです。秘密基地でもなく、友達に教えたい気持ちもあるけど、教えたくない気持ちもあります。人が多すぎると自分のユースセンターじゃなくなってしまうからです。でも、私が一番大好きな場所です。

まだ来ていない人に向けてメッセージをお願いします。

ユースセンターは部屋の中に入るまではすごく勇気がいるかもしれませんが、来てみたら楽しいです。私も最初は居づらかったし、居場所というと特別な人が行く場所というイメージがありました。でも、ここに来てみたら自分の居場所かもしれないと思えるので、ぜひ来てみてほしいです。